

大山阿夫利神社 秋季例大祭

立秋もとっくに過ぎて、秋味のビールが並んでも今年の酷暑は納まりませんが、お変わりなくお過ごしでしょうか？

大山に秋の訪れを告げる「秋季例大祭」が本日より始まりました。このお祭りは大山の神様がお神輿に乗って麓に降りてきて社務局に鎮座し、夏山期間中の氏子の皆さんの苦労を癒すもので、一般的な観光行事と趣を異にしています。



下社で神輿に寄せられた神様は、白装束の輿丁に担がれて、急階段の男坂を太鼓の音とともに下ります。

転げ落ち無いう、何十人の職方姿の阿夫利睦の助っ人たちが、後ろから引っ張っています。

何回見ても凄い迫力です。



コマ参道に入って、江戸時代さながらに渡御行列として隊列を整え、錫杖の刻むリズムに合わせて出発。

大山6町内を全て廻ります。

過去記憶に無いほどの猛暑の中で着物姿は大変です。



神輿は七色の切麻(きりくさ:紙片)を撒いて清める神職を先頭に、袴姿の警護の武士に護られ、宮司や先導師、稚児や巫女、白丁など百人を超える隊列が進みます。

小生がこの渡御行列を最初に見た時は、京都の時代まつりに見紛う程だと感心いたしました。



季節的には、秋晴れの大山の下を隊列は厳かに進みます。

この後明日28日夜には、日本遺産に登録されたことを記念して『ニッポンたからものプロジェクト』が開催され、セイン・カミュさんのトークショーや、日本舞踊や長唄、神事能の演能、6町内神輿の繰り出し等々が行われます。

夕涼みにお出かけになってみてはいかがでしょうか。